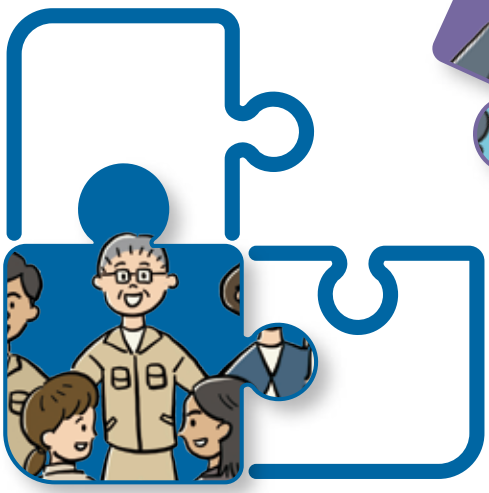
川金ホールディングスグループ

Kawakin

川金グループ社員
行動ハンドブック



ブランドマーク

Corporate Identity

Kawakin

未来へ向けた先進技術の提供とサステナブルな社会の創造という川金ホールディングスグループの広い視野に立った姿勢をイメージし、「時代をカタチに変える開発力」と、「信頼を架ける、安心を繋ぐノウハウ」を可能性と展望を感じさせるデザインで表現しています。

index

ブランドマーク …… 1
はじめに …… 2
理念体系 …… 3
グループ理念 …… 4
品質方針 …… 5
コアバリュー …… 6
行動基準 …… 7
■仲間たちとともに …… 9
■お客さまとともに …… 15
■お取引先とともに …… 21
■社会とともに …… 27
企業倫理ホットライン …… 33

はじめに

川金グループは「高品位なテクノロジーで最適なエンジニアリング・ソリューションを提供し、安全で高品質なモノづくり産業の発展と、安心で快適な社会づくりに貢献する」というグループ理念のもと、社会の期待に応え、世の中から認められる企業としてあり続けることを使命としています。このグループ理念を実践するための指針として、2020年2月に「グループ行動基準」を定め、これを日々の行動の中に具体的に反映させるための手引書として「行動ハンドブック」を制作しました。

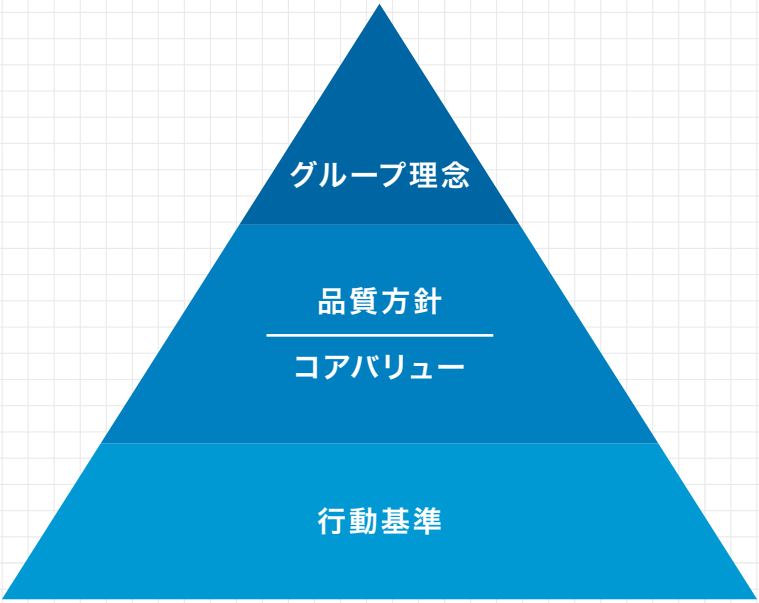
川金グループは、創業以来70余年、社員が一丸となって時代の荒波を乗り越え、成長を遂げて参りましたが、この間に社会・経済環境は大きく変化し、企業に対する社会の期待や要請は以前とは比較にならないほど大きくなりました。私たちが次の節目である100年、そしてその先を見据えて前進していくためには、これまでに培われた揺るぎない川金スピリットを持ち続けながら、世の中の声に耳を傾け、それぞれの時代に合わせて柔軟に対応していかなければなりません。その時に何より大切なのは、社会のルールを守り、誠実な行動をとることです。少しでも真摯さを欠くことがあれば、これまで誠心誠意築き上げてきた川金の信頼は一瞬にして崩れ去ります。

日々の仕事の中で壁にぶつかったり、心に迷いが生じたりしたときはこのハンドブックを見返し、どうあるべきかを考えてみてください。仲間たちと切磋琢磨しながら共に成長し、お客さまやお取引先に正面から向き合い、社会の発展に貢献するためにとるべき行動が示されています。皆さんがこのハンドブックの内容を自分のものとし、日々の行動を通じてグループ理念を実践されることを期待しています。

代表取締役社長
鈴木 信吉

理 念 体 系

System of Group Philosophy



グループ理念	川金HDグループの**存在目的** 川金HDグループ各社の企業活動の**基本目的**
品質方針	最重視すべき**「品質」に関する基本方針**
コアバリュー	グループ理念を実現させるための、 **心のあり様、行動原則**
行動基準	日常のあらゆる場面で **実践が求められる具体的なこと**

グループ理念

Group Philosophy

高品位なテクノロジーで最適な
エンジニアリング・ソリューションを提供し、
安全で高品質なモノづくり産業の発展と、
安心で快適な社会づくりに貢献する

この理念実現のために

1 誠実で責任ある企業活動を行い、
社会から信頼される企業グループを目指す。

安全、安心な製品を提供するという社会的使命を果たすため、法令遵守と高い企業倫理に則った公明正大な企業活動を実践する。

2 品質と安全性を最重視した経営を行う。

お客様に安心して使っていただける品質を確保するための体制を整備し、その品質を保証できる仕組みづくりと行動に努める。

3 最先端技術の研究と新製品開発に挑戦し続ける。

お客様の満足を高める魅力あふれる製品・サービスを提供できるよう、創意工夫を重ねてTomorrow's Technology, Todayを実現する。

4 川金グループの総合力を最大限に発揮する。

グループ各社が培ってきた人・技術・ノウハウを存分に生かして、各事業分野で新たな価値を創造する。

5 働き甲斐のある、活力に満ちた企業を築きあげる。

社員が互いに信頼し、共に成長し、働く喜びを実感できる企業風土を築き上げる。

品 質 方 針

Quality Policy

川金グループは、お客様や社会に対し、
安全で安心できる
高品質な製品・サービスを提供するため、
次の方針に従って企業活動を行う

(1) 品質を最重視した開発、設計、生産、販売、サービス等の企業活動にあたる。

(2) 製品・サービスの提供にあたっては、顧客要求事項及び適用される法令・基準等を遵守し、不正防止を徹底する。

(3) 製品の開発・改良にあたっては、安全性と信頼性の評価を徹底し、顧客満足を高める品質を実現する。

(4) 適切な品質マネジメントシステムを構築し、品質目標の設定、レビューによる継続的な品質改善活動を行う。

(5) 全ての関係者に品質教育を行い、品質に対する意識向上を図る。

(6) 製品・サービスの品質、安全性について、正確かつ適切に情報を公開する。

コアバリュー

Core Values

私たちの大切な価値観

がっちり組めば、未来がもっと近くなる。
いっしょなら、もっと伸びる、もっと拡がる。

Tomorrow's Technology, Today.
Kawakin Holdings Group

行 動 基 準

Code of Conduct

私たちは、関係するすべての方々や社会から信頼され期待される存在になるためには、グループ理念を実践することが大切であると考えます。

私たちは、グループ理念をそれぞれの仕事の中で実践するための指針として、コアバリューの精神を踏まえて、この『川金グループ行動基準』を定めます。

私たちは、『川金グループ行動基準』を守り、皆さまや社会の期待に応え、未来へと歩んでまいります。

私たちの基本姿勢

【ルールの遵守】
法令・社会規範・社内規程などを守ります。

【誠実な姿勢】
物事に真摯かつ誠実に向き合います。

【感謝の精神】
感謝の気持ちを忘れず、信頼と期待に応えます。

仲間たちとともに

お互いの個性を尊重し、認め合い、ともに切磋琢磨します

■私たちは、お互いが持つ個性や長所を認め合います。
■私たちは、積極的にコミュニケーションを取り、仲間を思いやります。
■私たちは、仲間と連帯し、力を合わせて、ともに成長します。

お客さまとともに

お客さまの期待に応え、先進的で高品質の製品・サービスを提供します

■私たちは、お客さまのご満足を第一に考えて製品・サービスを開発し、提供します。
■私たちは、お客さまが抱える問題を解決し、発展につながる提案を行います。
■私たちは、時代の先を行く製品・サービスを提供するために挑戦し続けます。

お取引先とともに

対等なパートナーとして尊重し、ともに発展できる関係を築きます

■私たちは、ルールを守って健全な取引を行います。
■私たちは、お互いの利益や発展につながる取組みを工夫し、実践します。
■私たちは、お取引先とともに成長し、発展できる関係を築きます。

社会とともに

社会の一員として責任ある活動・行動で社会の発展に貢献します

■私たちは、社会から信頼され、認められる健全な企業活動を行います。
■私たちは、様々な考え方や価値観に耳を傾け、社会の変化に柔軟に対応します。
■私たちは、社会の発展に貢献する取組みを工夫し、実践します。

私たちの基本姿勢について

この行動基準には、私たちがそれぞれの仕事の場面で実践すべき行動が定められていますが、必ずしもすべての行動が網羅されているものではありません。私たちは、常にグループ理念に立ち返り、その本質に照らして行動しなければなりません。

その際の大原則が、この３つの基本姿勢です。

【ルールの遵守】は、私たちが社会から信頼されるための絶対条件です。私たちが積み上げてきた信頼も、小さなルール違反で容易に崩れてしまいます。

【誠実な姿勢】は、あらゆる関係者との絆を深め、ともに成長・発展していくために必要不可欠なものです。

【感謝の精神】があれば、おのずと謙虚になれ、仲間や多くの関係者との絆が深まり、仕事のやりがいが増し、充実した生活を送ることができます。

仕事のあらゆる場面で、また仕事を離れた場面でも、この３つの基本姿勢を貫きましょう。

本冊子について

本冊子には、「川金ホールディングス・グループ行動基準」において焦点があてられている仲間たち、お客さま、お取引先、社会との関わりにおいて、川金グループ社員としてどのようにあるべきかがより具体的に示されています。

グループ理念・グループ行動基準を受けて、日々の業務の中でどのようなことを心がけ、どのような行動を取ればよいか、本冊子を通じて確認していきましょう。

行動基準
仲間たちとともに❶

お互いの
個性を尊重し、認め合い、
ともに切磋琢磨します

私たちは、お互いが持つ個性や長所を認め合います。

お互いの個性・長所を認め合い、自分の可能性を拡げよう

私たち一人ひとりは、生まれや育ちが違い、また、好みや考え方も違います。この違いから生まれる持ち味や長所がその人の個性です。

異なる個性と触れ合うことで、私たちは広い視野を持つことができ、新たな自分を発見することができます。

一人ひとりがそれぞれの違いを個性として認め合い、それぞれに力を尽くし、互いに助け合うことで、私たちの可能性は無限に拡がります。

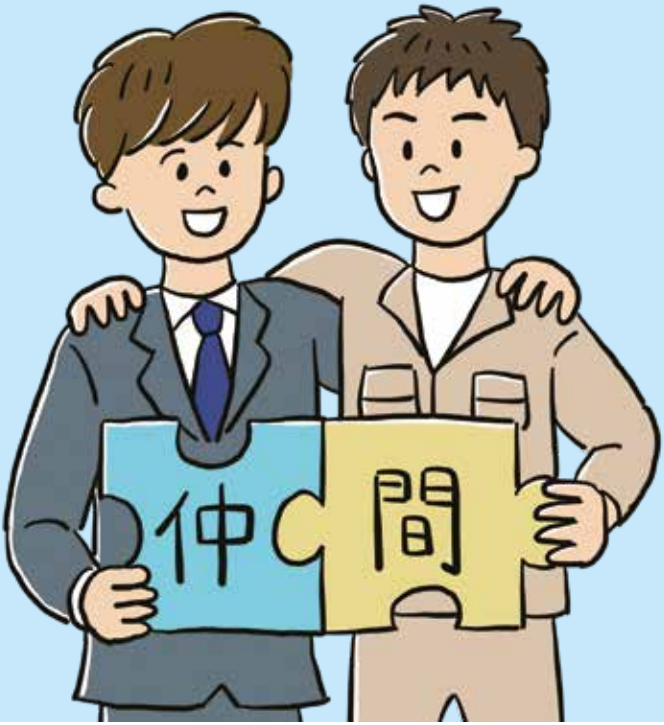
私たちに求められること

- [ ] 国籍、性別、出身地、障がいの有無などで差別してはなりません。
- [ ] 人それぞれに個性があります。いろいろな考え方や価値観を認め合いましょう。
- [ ] これまで歩んできた、その人の歴史や生き方を尊重しましょう。
- [ ] 思い切って、自分の個性を伸ばしましょう。
- [ ] 「親しき仲にも礼儀あり」誠実であることを心がけましょう。
- [ ] 親しい仲間でも、プライバシーは尊重しましょう。
- [ ] 互いに助け合い、良いところを学び合い、可能性を拡げていきましょう。

行動基準
仲間たちとともに②

お互いの
個性を尊重し、認め合い、
ともに切磋琢磨します

私たちは、積極的にコミュニケーションを取り、仲間を思いやります。



思いやりとコミュニケーションで、仲間との絆を深めよう

私たちは、それぞれに志をもって川金グループに集まった仲間です。

苦楽をともにし、互いに助け合える仲間との関係は、私たち一人ひとりの大きな支えとなります。このご縁を大切にしていきましょう。

殻に閉じこもらず、壁に当たったら遠慮なく仲間の力を借り、悩んでいる仲間がいれば、積極的に手を差し伸べましょう。

仲間を思いやり、コミュニケーションを取ることで、絆が深まり、より良い職場を築くことができます。

私たちに求められること

- [ ] 仲間の役に立ちたい、信頼に応えたいという思いが、仲間同士の絆を深めます。
- [ ] 日頃から、仲間の様子を気づかい、困ったり悩んだりしていれば声をかけ、力になりましょう。
- [ ] 一人で仕事を抱え込んで悩まずに、仲間を信頼し、相談しましょう。
- [ ] 明るく、風通しの良い職場を築くため、仲間とのコミュニケーションを密にしましょう。
- [ ] セクハラ、パワハラなどのハラスメントや誹謗中傷は、仲間を傷つけ、職場の空気を暗くします。相手の立場に立って考え、接するよう心がけましょう。

行動基準
仲間たちとともに❸

お互いの
個性を尊重し、認め合い、
ともに切磋琢磨します

私たちは、仲間と連帯し、力を合わせて、ともに成長します。

仲間と力を合わせ、未来を切り開こう

川金グループには個性豊かな仲間が集まっています。

一人では出来ないことも、みんなの力を合わせることで成しとげることができます。

また、立場の違いや組織の壁を乗り越え、お互いが切磋琢磨することにより、一人ひとりが大きく成長し、新しい未来を切り開くことができます。

［ がっちり組めば、未来がもっと近くなる。
いっしょなら、もっと伸びる、もっと拡がる。 ］

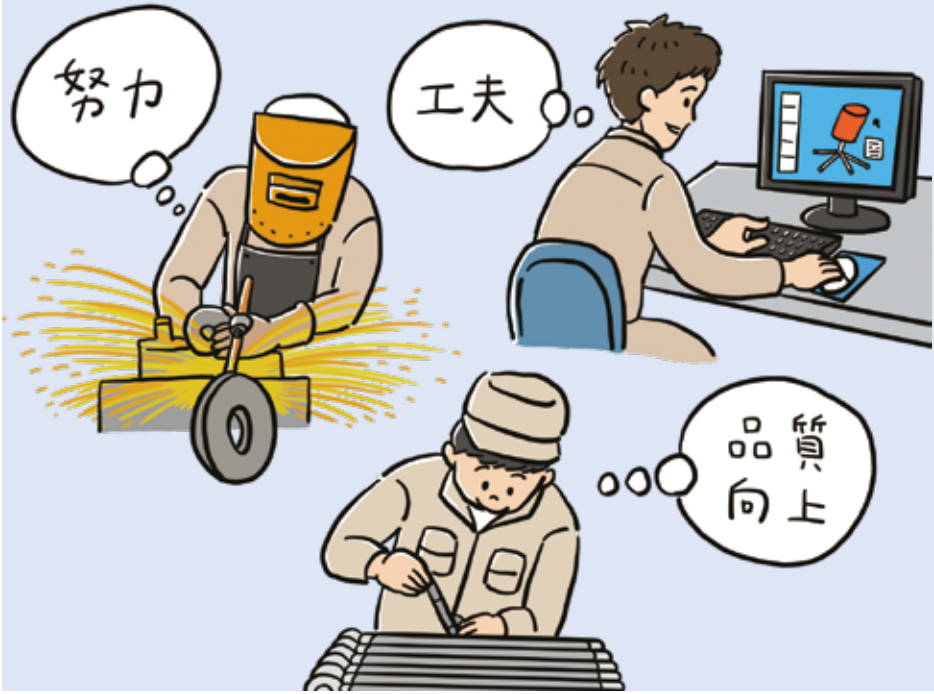
私たちに求められること

- [ ] 私たちは、仲間とチームを組んで仕事をしています。目標の達成、課題の解決のために必要な情報を共有し、チームの力を最大限に発揮しましょう。
- [ ] 仲間との協力・連携を深めるため、それぞれの役割や責任を明確にし、「報・連・相」を密に行いましょう。
- [ ] 仲間と互いに切磋琢磨しながら、さらなる高みを目指しましょう。
- [ ] ともに努力し成長する仲間への感謝の気持ちを、忘れないようにしましょう。
- [ ] チームワークを保つため、一人ひとりが職場秩序を守り、責任ある行動をしましょう。

行動基準
お客さまとともに❶

お客さまの期待に応え、
先進的で高品質の製品・
サービスを提供します

私たちは、お客さまのご満足を第一に考えて製品・サービスを開発し、提供します。



お客さまのご満足を第一に

お客さまのご満足を得ることは、私たちの喜びであり、誇りでもあります。ご満足いただける製品・サービスを開発・提供するためには、お客さまの役に立ちたいという思いを持ち、お客さまの声に耳を傾け、お客さまの目線で考え続けることが大切です。

喜びと誇り、そして、お客さまへの感謝の気持ちを忘れず、期待を上回る最高の製品・サービスを提供していきましょう。

私たちに求められること

- [ ] 私たちの仕事の全てがお客さまのご満足につながっていることを忘れず、誠実に仕事に取組みましょう。
- [ ] 常にお客さまの声に耳を傾け、何が求められているかをしっかり把握しましょう。
- [ ] お客さまの問題提起や改善要望などを、迅速にフィードバックしましょう。
- [ ] お客さまにご満足いただける品質・価格・納期が確保できるよう、研究・開発・調達・生産・検査・物流・販売・アフターサービス・管理など全ての段階で努力し、工夫しましょう。
- [ ] 品質問題が生じた場合は、社内ルールにのっとって、速やかにかつ適切に対応しましょう。
- [ ] お客さまに対してうそをついたり、情報の隠ぺいや、データや資料の改ざんなどの不正行為をしてはいけません。
- [ ] 過度な贈答品の授受や接待、ワイロの提供を絶対に行ってはいけません。
- [ ] お取引いただいているお客さまのさらにその先のお客さまにもご満足いただけるかを常に考えて、製品・サービスの開発・提供を行いましょう。

行動基準
お客さまとともに②

お客さまの期待に応え、
先進的で高品質の製品・
サービスを提供します

私たちは、お客さまが抱える問題を解決し、発展につながる提案を行います。

真のエンジニアリング・ソリューション・カンパニーとして

私たちの仕事は、製品・サービスを通じて、お客さまの問題を解決することです。

そのために大切なのは、お客さまの真のニーズを突き止めることです。

お客さまの立場に立って考え、ご要望の背後にある本質的な問題を見つけ出し、問題解決につながる最適な製品・サービスを開発・提供することができれば、お客さまの事業発展に貢献することができ、お客さまとの絆を深めることができます。

私たちに求められること

- [ ] お客さまの真のニーズを的確にとらえるため、積極的に情報収集をしましょう。何気ない言葉、表情の中に、「解決すべき問題」を見つけ出すヒントがあります。
- [ ] 解決策は一つではありません。様々な角度からアプローチできる広い視野を養いましょう。
- [ ] お客さまの期待に応えるため、対応力を高め、効率的な事業活動を行う努力を続けましょう。
- [ ] ニーズを吸い上げるのは営業部隊だけではありません。全ての部門の全ての社員がお客さまのニーズを意識し、お客さまの課題解決のために力を尽くしましょう。
- [ ] お客さまのご要望に真に応えられているか、自画自賛に陥っていないか、もう一度謙虚な姿勢で考えてみましょう。

行動基準
お客さまとともに❸

お客さまの期待に応え、
先進的で高品質の製品・
サービスを提供します

私たちは、時代の先を行く製品・サービスを提供するために挑戦し続けます。

時代を先取りした
製品・サービスの開発に挑戦しよう

時代の変化は早く、今日の最新技術も、明日には時代遅れになるかもしれません。私たちは、「Tomorrow's Technology, Today」の精神で、時代を先取りした製品・サービスを開発し続けなければなりません。

業界内外の様々な情報を積極的に収集し、今の価値観や枠組みにとらわれず、失敗を恐れずに思い切って一歩踏み出しましょう。一歩踏み出せば、新しい価値を生み出すヒントが見えてきます。

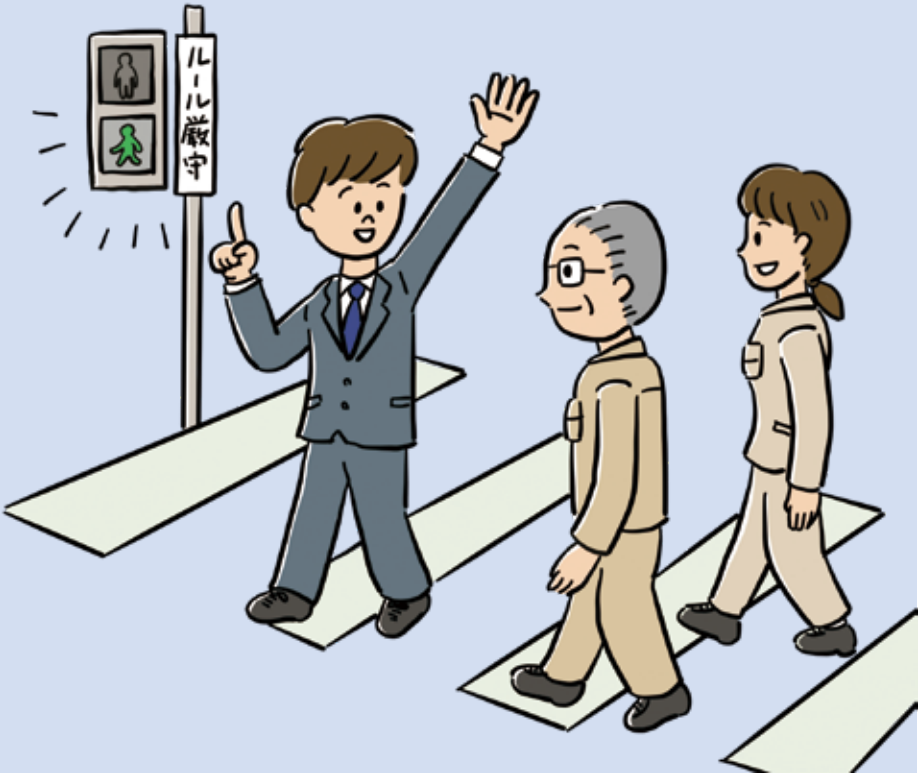
私たちに求められること

- [ ] Tomorrow's Technology, Todayの精神を持ち続け、新たな価値を創造し、市場に提供していきましょう。
- [ ] 市場ニーズを的確にとらえるため、アンテナを広く張り巡らせ、業界内外を問わず、情報収集に励みましょう。
- [ ] 常に安全・安心を第一に考えて、先進的な製品・サービスの開発に取組みましょう。
- [ ] 製品・サービスの開発にあたっては、第三者の知的財産権を侵害することがないよう、注意しましょう。
- [ ] 私たちの知的財産権を適切に管理・活用し、新たな発明を行った場合は、権利化を急ぎましょう。また、権利の侵害に対しては、毅然とした態度で応じましょう。

行動基準
お取引先とともに❶

対等なパートナーとして
尊重し、ともに発展できる
関係を築きます

私たちは、ルールを守って健全な取引を行います。



健全な取引により、お取引先との信頼関係を深めよう

私たちは、お取引先にご協力をいただきながら仕事をしています。お取引先は、私たちの仕事に欠かせない大事なパートナーです。

このパートナーとしての関係は、相互の信頼によって成り立っています。私たちは、この信頼関係を維持し、深めていかなければなりません。そのための大原則は、ルールを守り、互いに公平・公正で健全な取引を行うことです。

私たちに求められること

- [ ] お取引先の選定に当たっては、公平に比較評価し、最適なお取引先を決定しましょう。
- [ ] お取引先との取引では、互いに公平・公正な契約を締結しましょう。
- [ ] お取引先と合意した条件や契約内容を必ず守りましょう。
- [ ] 無理な価格や、契約外の労働等、無理な条件を押し付けてはいけません。
- [ ] 下請法やその他関連する法律を必ず守りましょう。
- [ ] お取引先には、公私のけじめをつけて接しましょう。
- [ ] 立場を利用して、金銭等を受け取ったり、度を越した贈答や接待を受けることがあってはなりません。

行動基準
お取引先とともに②

対等なパートナーとして
尊重し、ともに発展できる
関係を築きます

私たちは、お互いの利益や発展につながる取組みを工夫し、実践します。

お取引先と力を合わせて、環境変化に立ち向かおう

時代の変化とともに、お客さまの価値観や嗜好が変わり、競合状況も変化します。

このような環境変化に対応するためには、お取引先と力を合わせ、互いの利益と発展のために、新製品・新サービスの開発や原価低減を進めていかなければなりません。このためにも、日ごろから必要な情報を交換し合い、課題や目標を共有し、技術を高め合うことが大切です。

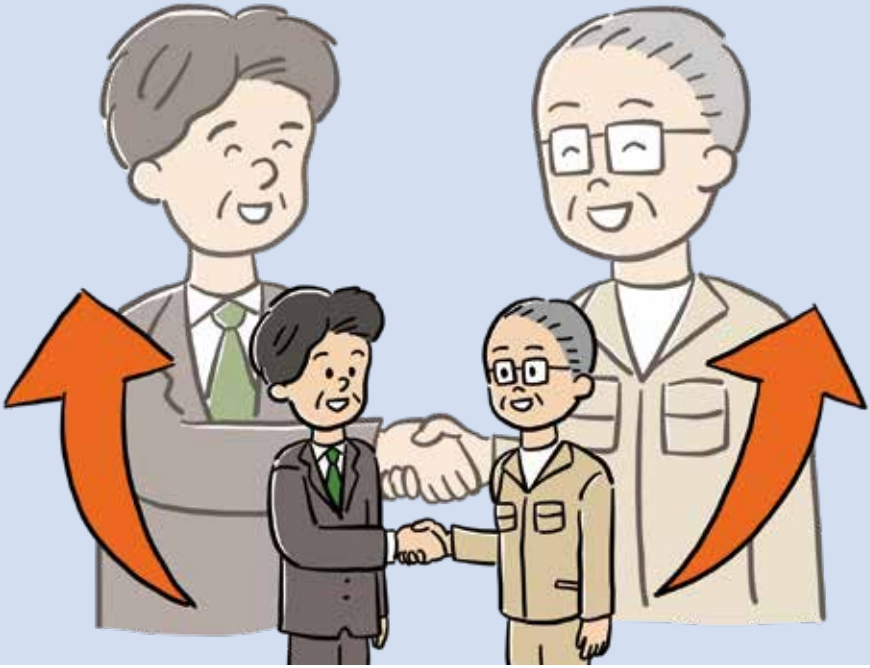
私たちに求められること

- [ ] 自社の利益のために、お取引先にとって不利益になるようなことをしてはいけません。
- [ ] 双方にとって利益になる課題や目標を見つけ出し、お取引先に対して共同の取組みを提案しましょう。
- [ ] お取引先の問題提起や改善提案を真摯に受け止め、解決を図りましょう。
- [ ] 共同開発や原価低減など、双方の利益になる取組みを積極的に行い、成果をともに分かち合いましょう。
- [ ] お客さまに確かな品質の製品・サービスを提供するためには、お取引先のご協力が欠かせません。互いの利益と発展のために、お取引先に川金グループの品質方針を共有し、遵守していただきましょう。

行動基準
お取引先とともに❸

対等なパートナーとして
尊重し、ともに発展できる
関係を築きます

私たちは、お取引先とともに成長し、発展できる関係を築きます。



信頼できるパートナーとともに、未来を切り開こう

お取引先は、川金グループの成長・発展に欠かせない大切なパートナーです。互いに協力し合い、高め合いながらともに歩んでいきましょう。

ルールを守って健全な取引を行うこと、そして、お取引先と力を合わせてお客さまの期待に応えることで、信頼関係が深まり、ともに成長し、発展することができます。

私たちに求められること

- [ ] お取引先とともに成長、発展するために、積極的に意見を交わし合い、切磋琢磨を重ね、信頼関係を深めましょう。
- [ ] お取引先のご意見は私たちの財産です。どんなことも真摯に受け止めましょう。
- [ ] お取引先にとって厳しいことであっても、お取引先の経営の健全性や発展につながることは、誠意をもってお伝えしましょう。
- [ ] 事業運営に必要なルールや仕組みが十分に整備されていないお取引先に対しては、問題提起し、必要に応じて、仕組みの整備を支援しましょう。
- [ ] お取引先への感謝の気持ちを忘れず、川金グループと取引をしてよかったと思っていただけるような取組みを工夫しましょう。

行動基準
社会とともに❶

社会の一員として
責任ある活動・行動で
社会の発展に貢献します

私たちは、社会から信頼され、認められる健全な企業活動を行います。

社会からの信頼が企業の生命線

私たちの事業が存続するためには、社会から認められ、信頼されなければなりません。信頼は、私たち一人ひとりがルールを守り、誠実な仕事を続けることによって初めて得ることができます。

ただ、時間をかけて得た信頼も、一人のちょっとした「不誠実」により一瞬で崩れ去ります。

私たち一人ひとりが、「絶対に不正をしない、許さない」という強い思いで仕事に向き合わなければなりません。

私たちに求められること

- [ ] 社会規範を尊重し、良識と責任意識をもって行動しましょう。
- [ ] 法令や社内規程などのルールを遵守し、常に川金グループを代表しているという自覚をもって、責任ある言動を心がけましょう。
- [ ] 反社会的勢力に対しては毅然とした態度で対応し、一切関係を持ってはいけません。
- [ ] 公開されていない、川金グループやお客さま、お取引先などの企業情報は、知人や家族も含め、決して外部に漏らしてはなりません。
- [ ] ワイロの提供や、カルテル・入札談合など、法令や企業倫理に違反する行為をしてはいけません。
- [ ] 記録の改ざんや粉飾、都合が悪い事実の隠ぺいなどは、決して行ってはいけません。
- [ ] ルールに反する行為を知った場合には、勇気をもって、上司や各社の担当部門、または「企業倫理ホットライン」*に通報しましょう。

*企業倫理ホットライン：p.33参照

行動基準
社会とともに②

社会の一員として
責任ある活動・行動で
社会の発展に貢献します

私たちは、様々な考え方や価値観に耳を傾け、社会の変化に柔軟に対応します。

変化に柔軟に対応し、将来に向けて前進しよう

川金グループがこれからも社会から必要とされ続けるためには、時代の変化に柔軟に対応していかなければなりません。

「川金グループの常識が社会の非常識」にならないよう、常に社会の変化に目を向け、様々な考え方に耳を傾けましょう。

川金グループらしさを大切にしながら、変えるべきもの、変えてはいけないものをしっかり見極め、社会とともに進化し続けましょう。

私たちに求められること

- [ ] 変化に対応するためには、まず変化の兆しに気づかなければなりません。世の中の様々な事柄に関心を持ち、積極的に新しい情報を収集しましょう。
- [ ] 社会がどのように変化しているか、また、今、世の中で何が求められており、自分の仕事にどんな影響がありそうかを考えてみましょう。
- [ ] 大事なのは先入観で物事を見ないことです。お客さまやお取引先の声を聴き、他社のやり方を知り、今の仕事のやり方が、世の中のニーズに合っているかを確認しましょう。
- [ ] 今までの考え方、やり方に問題があると思ったら、自分の考えや行動を変えましょう。そして、勇気をもって関係者に働きかけ、仕事の考え方、やり方の変革に挑戦しましょう。
- [ ] 「変えるべきこと」と「変えてはいけないこと」をしっかり区別し、これまでのやり方の良いところや残すべきところは残し、大切にしていきましょう。
- [ ] 国や地域によって異なる文化・宗教・価値観・慣習などを正しく理解し、敬意をもって柔軟に対応しましょう。

行動基準
社会とともに❸

社会の一員として
責任ある活動・行動で
社会の発展に貢献します

私たちは、社会の発展に貢献する取組みを工夫し、実践します。

社会全体の発展に向けて、私たちができること

私たちの仕事は社会と密接な関わりを持ち、お客さま・お取引先・会社の仲間・株主・地域社会などに支えられて成り立っています。

高品位なテクノロジーで最適なエンジニアリング・ソリューションを提供し、安全で高品質なモノづくり産業の発展と、安心で快適な社会づくりに貢献する

この理念を一人ひとりが実践することで、川金グループは社会にとって、なくてはならない存在になることができます。

私たちに求められること

- [ ] グループ理念をもう一度確認し、目の前の一つひとつの仕事が社会の発展に通じていることを意識しながら、仕事に取組みましょう。
- [ ] 社会の一員としての自覚をもち、様々な社会的課題の解決に寄与するため、積極的に社会貢献活動に参加しましょう。
- [ ] 川金グループが事業を展開している国や地域社会とのつながりを大切にし、その発展に貢献できるよう努力しましょう。
- [ ] 地球環境を保護するため、関係する環境保護法令や基準を遵守するとともに、製品・サービスの開発・提供のすべての段階で環境負荷を少しでも減らすよう努力しましょう。
- [ ] 社会から認められ、社員や家族が誇りを持てる川金グループであり続けるよう、私たち一人ひとりが誠実に仕事に取組みましょう。